

2020-2021年度 豊岡市・神戸大学共同研究 「外国人住民に関する調査研究」報告書（概要版）

調査の目的

市内に在住する外国人市民の現状とニーズを把握し、多文化共生による活力ある地域づくりを通じた「小さな世界都市 - Local & Global City -」・豊岡を実現すること（2019年度調査から継続）。

2020-2021年度調査について

「外国にルーツのある子ども」（国籍に関係なく、親の一人あるいは両方が外国出身である子ども・多文化のバックグラウンドをもつ子ども）と「ニューカマー」外国人の出産・育児・教育について調査を行い、地域社会の未来の主人公たちが自らの能力を活かし、幸せに生きてゆける豊岡を築くための方策を探ること。

調査内容

妊娠・出産・乳幼児育児・保育の現状/外国ルーツ児童・生徒の現状/外国人市民当事者の経験/外国人雇用事業所調査（補足）

教育・保健関係者、支援組織、当事者に対し質・量ともにバランスのとれた調査を実施
外国人非集住/散在地域における包括的な調査



豊岡の未来に備えた先駆的な取り組みであるとともに、
他地域の現状を分析するためのパイロットプランとしての意義も

豊岡市における外国人市民の概況

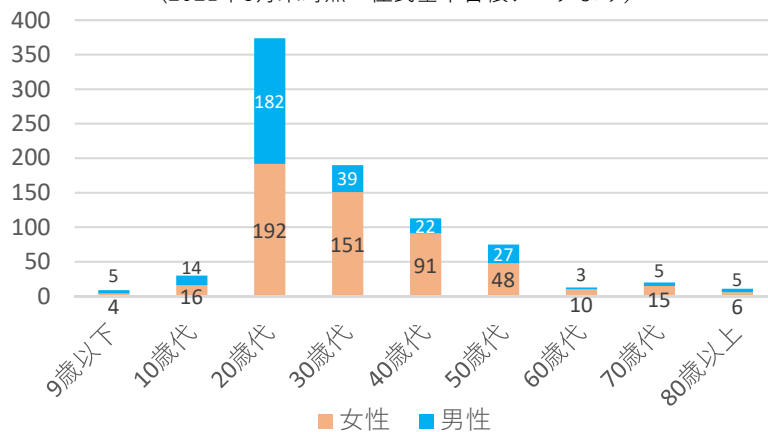
2019年11月末：831人



2021年11月末：838人（人口の1%強）

- ・ベトナム：約31%、フィリピン：約23%、中国：約16%など多様な出身地
- ・ここ数年増加傾向。コロナ禍で一時減少したが徐々に回復しつつある
- ・少子高齢化の進む地域における貴重な人材

男女別年齢別外国籍住民数
(2021年3月末時点・住民基本台帳データより)



豊岡市における「外国にルーツのある子ども」の概要（2021年6月末時点）

総数：163名（同世代人口のおよそ1.1%）

年代構成：就学前55名、小学生50名、中学生25名、16-18歳33名

国籍内訳：日本国籍137名（親の国籍：フィリピン、中国、韓国、ベトナム等）

外国籍26名（本人の国籍：フィリピン、中国等）

→地域で生まれ・育ち、地域の未来を担う子ども・若者たち

外国人妊産婦・子育て家庭への支援の現状と課題

豊岡市・外国人妊産婦に対する母子健康手帳交付数

2017-2019年度：年間4,5件（0.7～1%程度）

2020年度：11件（2～2.2%程度）増加傾向に

- ・フィリピン出身が約半数、その他ネパール、アメリカ、中国、韓国、ベトナム、ミャンマーなど多様、近年は外国人同士の夫婦も増加
- ・「およこ支援室」による妊娠期からの切れ目ない支援：外国籍の市民に対しても、日本国籍者と同様の制度的支援

見えてきた課題

- ・外国人妊産婦・子育て家庭への支援にかかわる情報の必要性
- ・支援者と当事者をつなぐ人や仕組みづくり

4 Month Health Check Survey Fill out the required information and bring it to the 4 month checkup 受診日 受付No.

Child's full name (フリガナ) _____ Male / Female Birthdate 年 / 月 / 日 _____ address _____ Your name and relation to the child _____
(1st born, 2nd born, etc.) (Year should be in Heisei) Toyooka-shi

Child's phone number _____

Has the child had any illnesses? Yes - No
(Name the illnesses)

Is the child currently being treated (currently under observation) for any illness? Yes - No
(Name the illnesses) (Medical facility's name (i.e. Hospital or clinic name))

Can they hold up their head? Yes - No
Duration: _____ years _____ months old (approximately)

When you hold them do they violently stretch out their arms and legs making it difficult to hold them? Yes - No

When you lay them on their stomach, do they support their bodies with their elbows and lift their head? Yes - No

Which hand do they use to grasp their toys? Yes - No

Can they turn their head towards the direction a sound is coming from? Yes - No

Can they follow a moving object with their eyes? Yes - No

Can they focus? Yes - No

Can they verbally laugh when you make them? Yes - No

Can they make sounds such as 'ah, ah'? Yes - No

Can they bring both hands together to play while lying on their backs? Yes - No

What is their main source of nutrition? Breast milk (every _____ hours) Formula (_____ ml/ _____ times) / Both Breast milk (_____ times a day) + Formula (_____ ml/ _____ times)

Are you feeding them anything else besides breast milk and formula? Yes - No

Use a car seat that is properly installed. Yes - No

Describe the condition of their bowel movements.
They have one everyday / not everyday (one time every _____ days)

Can they differentiate between day and night? Yes - No

Are you taking any precautions to prevent accidents? (Two or more answers is okay)

- Don't violently move or shake baby
- Don't leave the child alone while you go out.
- Don't leave the child alone in the car.
- Always keep the sides of the crib up.
- Know how to administer CPR and use an AED.
- Use a car seat that is properly installed.
- Don't leave cigarettes, coins, handkerchief, plastic or other potentially dangerous items where the child can reach.
- Don't leave anything that may burn the child where they can reach it.
- Don't put the child to sleep on an overly soft bed.
- Put the child to sleep on their back.
- Other (_____)

How are you, the mother, feeling? Good / Normal / Bad

Who is the main care giver during the day? Please write their relation to the child. (_____)

Is the mother working? Yes - No

When you are troubled is there someone or a group that you can go to for advice? No - Yes (_____)

Which of the following expresses your current feelings towards raising your child? Check the following boxes. Two or more answers is okay.

Happy Normal Stressed Depressed

Is there anything that you are worried about or would like advice for regarding your children or family? _____

Write anything that you are concerned about with your child's exam. _____

重要事項記入をお願いします。

医師 相談 受書

外国語の乳幼児健診問診票

出身地の文化について知らないで、彼女たちの行動や考え方について、どこまでが文化的なものでもどこまでが個人的なものなのかわからない…赤ちゃんのために伝えたいことがあるが、一方的に日本の基準を押し付けるのはよくないかもしれないと躊躇してしまう。（保健師）

日本での子育ては疲れる。保健師さんがいろいろ手伝ってくれるし、予防接種など丁寧に連絡してくれるのは助かる。でも、それ以外は一人でやらなければならない。助けてくれる人が近くにいない。母国での子育ては楽。産めばみんなで育ててくれるので、あれこれ気を遣わなくていい。（外国人母親）

外国にルーツのある子どもとその保護者の就学前施設における現状と課題

外国にルーツのある就学前の子ども

2021年6月末：55人（同年代人口の約1.5%）

1年間で10人増加

見えてきた課題

- ・入園前から日常的にかかわれるサポート体制
- ・子どもと保護者支援にかかわる文化的情報の共有
- ・利便性の向上と保護者の負担軽減

外国人家庭の生活習慣や文化の違いを理解するため、受け入れ施設の職員を対象とした研修会を開催したり、言語や文化の違いから起こりがちなトラブルとその対処方法等をまとめたガイドブック等の提供があれば便利（就学前施設スタッフ）

日本にいるから日本語を先に覚えさせた方がいいんじゃないかと言われたので、私たちはそういうふうにした。ただ、それだと私がコミュニケーションが取れないことになっちゃう…（外国人母親）

外国にルーツのある児童の

小学校における現状と課題

外国にルーツのある児童が在籍する小学校

2020年時点：27校中10校

見えてきた課題

- ・外国ルーツであることと児童の発達上の課題との切り分けの難しさ
- ・外国人児童の家庭環境・文化についての理解・状況把握の必要性
- ・経験の蓄積・共有・研鑽の場の必要性

（児童の態度は）母国の「お国柄」のような性格もあるのか…いつも「どっちなかな～、どっちなかな～」と職員室で話しあいながら対応している。（教員）

学校からの呼び出しの連絡があると、「もしかしてうちの子、進級できませんって言われるのではないかと不安になる。（外国人母親）

お話していて自分でも気づいたんですけど、やっぱり個別に支援が必要なことは、特に大きな問題はないと言いながらもやはりあるんですね。（教員）

子どもの持ち物に苦労して漢字で名前を書いたにもかかわらず、1年生は平仮名で書くことになっていた。水筒を持って来るようにと言われて空の水筒を持って行かしてしまった。（外国人母親）

「生活の場」としての放課後児童クラブ

保護者が毎日迎えに来るので、外国にルーツのある児童に何か問題があった時に、そこから理由や背景を知り、話をするきっかけとなり得る。家庭、学校に加えた**第三の視点**としての重要性。

外国にルーツのある中学生の生活・課題と将来

外国にルーツのある生徒が在籍する公立中学校
2020年度：9校中7校

見えてきた課題

- ・思春期ならではの問題や進学を見すえた学習上の問題が顕在化
- ・同質性による包摂という側面がさらに強くなっている（「違い」をどう扱うか）
- ・学校の「外」とのゆるやかな連携の必要性

外国にルーツのある子ども当事者への聞き取りから

学齢期にルーツのある国を離れて文化圏の異なる国へ移動し、新たな地で生活するを経験した子ども・若者に、当事者ならではの経験と意見をうかがった。

見えてきた課題

- ・言語・学習支援の重要性：日本語能力・学力を身につけることで円滑なコミュニケーションが可能になるだけでなく、自信や自己肯定感、将来への展望を持つことにもつながる
- ・「学校の外」の必要性：学校でも家庭でも孤立しがちな子どもを支える場所・居場所の重要性
- ・母語・継承後の重要性：家庭内でのコミュニケーションや、本人の学習能力、また将来へ向けた資源という観点から言語習得を評価する必要

自然なかたちで、例えば調理実習で世界の食などを扱う、その一環として外国ルーツ生徒の出身国のことを取り上げたりなどもありだとは思いますが、あくまでも生徒全体に対しての教育であり、取り上げることが必要なのかどうか、それを当該生徒が望むのかどうか、ということについても配慮が必要。（教員）

出身国の母親同士はつながりはないようだが、つながってくれたほうが情報交換もできて学校にとっても良いと思う。（教員）

親の出身国同士のネットワークがあってもいいかもしれない。外国人コミュニティがあるとすれば、にほんご豊岡あいうえおや国際交流協会。（教員）

小学校高学年で日本に来た時は何もわかりませんでした。最初日本語が全然喋れなくて、友人関係でたくさんの悩みがありました。例えば、友だちと言葉のことで誤解が生まれることがよくありました。特に小学生ってすごい面白がりというか、外国人を初めて見ましたって子がたくさんいて、すごいいっぱい話しかけてくれたんですけど、私もわからないし、会話にならなくて。（外国ルーツの生徒）

中1の中間テストで、母国では取ったこともないような低い点数だったため、教室で泣きだしてしまいました。それで、国語の先生が個人的に勉強を見てくれるようになり、中3の終わりまで続いた。作文をたくさん書いて、先生に添削してもらおうという学習の仕方だった。こうした教師の個人的な支援のおかげでしっかりとした日本語能力を身につけることができた。（外国ルーツの若者）

ここ（日本語・学習支援NPO）の先生は話をいっぱい聞いてくれました。悩み事とか、何かあったときに本当に、一緒に考えてくれます。（外国ルーツの生徒）



但馬地域における子育て・就学・進学チャート
 (NPO法人にほんご豊岡あいうえお制作)

子どもの育ちと母国の育児文化/学校文化

通訳によって言語的な障壁を解消することはある程度可能だが、その「意図すること」までは伝わらないこともしばしば。支援する側が相手の育児文化・学校文化を理解することができれば、相互理解は格段に容易になるだろう。出産・育児を経験した外国人母親たちの経験を一部紹介する。



産後1週間はシャワーを浴びてはいけないという母国での教えを信じてたけど、日本の病院に行ったら、看護師さん達に「シャワー行きなさい」と言われて、お医者さんにも「いいよ、シャワー行っても」と言われて。なんかすごい怖くって、すぐに国にいる母に相談した。

子育ては、基本的に祖父母含めた家単位。ほとんど祖父母に任せっきりということも。日本は祖父母も働いていることが多いので、あまり手伝ってくれない。母国の子育ては楽。産みやすい。日本は、私の経験だと、きつい。一人でやらなくてはいけない。

出身国はオープンな雰囲気だから、子どもたちが「インディペンデント」。年上の子どもがすることを見ているだけで、勉強になっている。着替えやトイレなんかは、子どもたちは勝手にできるようになる。隣の家が、自分の家のような感じで、いつでも行っていい。お兄ちゃんやお姉ちゃん、友だちのなかで、自由に育つ。だから育てるのが楽。子どもが強くなる。

あまりいい水がなくて、ミネラルウォーターとかも高い。普通の水だったら沸かさないといけない。だいたいこの食卓でも、ご飯とジュースかコーラが普通。水の代わりという感じ。

日本の先生はみんなやさしいっていうか、相談を聞いてくれる。生徒の話も。だから相談しやすい。母国では先生が怖いから、なかなか相談ができない。

見えてきた課題

育児文化/学校文化についての相互理解の必要性：さまざまな国の育児文化/学校文化への理解を広げることが、外国にルーツのある子どもたちやその母親を支援するだけでなく、私たちの社会をより暮らしやすい・子育てしやすい社会に変えていくきっかけにもなる。

「違い」「多様性」とともにある環境の構築に向けて

◎今後の課題

- ・人々を孤立させない仕組みと環境づくり
- ・違いを認めあう学校文化・地域文化の醸成

外国人市民に対し、子育て・教育も含めた生活全般に関する情報を包括的に提供し、またそれぞれが抱える困難を集約し、適切に対応できる体制を整備してゆくこと。

さらに、固有の事情やそれへの対策についての知恵と経験を蓄積し共有する仕組みをつくること。

こうした課題は、一部局・機関、あるいは現場での「がんばり」によってではなく、外国人市民と関係を持つさまざまな個人や組織・地域や企業のゆるやかな連携を創出することで解決されるべきである。

「違い」や「異質性」を積極的に認め、評価する環境を構築することは、外国人市民の有する能力や資質を発揮してもらうためだけでなく、**豊岡市民全体にとってより生きやすい社会をつくりあげることにつながる。**